

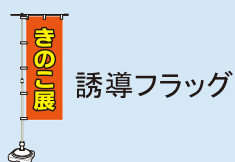
きのこ展会場MAP

園内の`きのこ出現ポイント、を回ってみよう！

マップ内の青い丸数字は、例年、裏面写真のキノコが生えていた場所です。
プロムナード先案内板「ただいま生えているきのこ」と併せてご覧ください。
※マップ内のきのこは、常に生えているわけではありません。

研修展示館

- 1F** 驚きの菌食の世界
2F きのこ美術館
3F きのこ画コンテスト（きのこコン）
〈ワークショップ〉
・きのこのプラバンストラップづくり
・きのこの折り絵パズル



A クイズラリー
設置場所

中央広場周辺

休憩スペース・飲食店
マッシュルームつかみどり
[有料・日曜日のみ]

プロムナード先案内板

ただいま生えているきのこ

教育棟

きのこ書籍・グッズ販売

入口

W4 冷温帯落葉広葉樹林



多目的温室

野生きのこ・
栽培きのこの展示

常設展示

「植物園のきのこの仲間」

四季を通していろいろな「きのこの仲間」を観察できるコーナーです。

植物園からのお願い



とらない！



植栽区への
立入禁止



ハチに注意

クイズラリー

会場MAPの マークをまわって
クイズにチャレンジしよう！全問挑
戦者には、オリジナルポストカード
をプレゼント。交換場所：教育棟

番号	A	B	C	D	E
答え					



① タマゴタケ

② ニガクリタケ

③ ノウタケ

④ マントカラカサタケ

⑤ コフキサルノコシカケ

きのこQ&A

きのこやその他の菌類について、よく挙げられる質問をまとめました。写真のきのこは、表面の会場マップの数字と照らし合わせてご覧ください。

Q1

展示されているきのこはどこから採ってきたの？

ほとんどが身近な場所からです。大半は植物園から半径10キロ圏内。植物園を舞台にした大規模なきのこ調査も進行中。その他にも日本全国の協力者から、たくさんのきのこを送っていただきました。

⇒詳しくは「多目的温室」で！

Q2

毒きのこはさわっても大丈夫？

大丈夫です。世界で唯一「カエンタケ」というきのこだけは、さわるだけで危険と言われることもありますが、実際には食べなければ大丈夫。その他のきのこも猛毒菌を含め、さわるだけでは全く問題ありません。このコーナーではきのこの匂いを嗅いだり触ったりして楽しんでください。でもきのこを触るときは優しく、そして触った後は元にもどしてください。手を洗うのも忘れずに！

⇒詳しくは「多目的温室」で！

Q3

実際に生えている状態のきのこは見られないの？

筑波実験植物園には年間を通して多様なきのこが発生します。どんな時期でも植物園を一周すれば、軽く30種を超えるきのこを見ることができそうです。園内全体がみどころですが、特にオススメなのは「冷温帯落葉広葉樹林(W4)」。

⇒詳しくは「プロムナード先案内板」で！

案内板の「ただいま生えているきのこ」に書かれた情報を見逃さないで！

Q4

きのこアート展示もあるって本当？

はい。「きのこコン(きのこ画コンテスト)」応募作品展では、入選作品だけではなく、多数の力作が展示されています。この中から来年のきのこ展のポスターデザインが選ばれるかも！また、きのこを生き生きと表現した木版画や水彩画、実物のきのこの質感を生かした「押しきのこ」作品など、多彩な「きのこアート作品」がみなさんをお待ちしています！

⇒詳しくは「研修展示館2Fおよび3F」で！

Q5

やっぱり日本ではマツタケが一番人気なんでしょ？

たしかにマツタケは日本人にとって欠かせないきのこと言えるでしょう。でも地方によって一番人気のきのこは、かならずしもマツタケではないのです。栃木県の「ちたけ」(チチタケ)、石川県のコノミタケ、大分県のササナバなど、一部の地域でしか人気のないきのこはたくさんあります。ツチグリにいたっては、日本全国に分布するのに、現在このきのこを食べているのは福島県の一部と宮崎県くらい。でも昔は日本全国で食用にされていたのかもしれないのです。

⇒詳しくは「研修展示館1F」で！

Q6

世界的に人気のあるきのこはトリュフ？ポルチーニ？

トリュフやポルチーニ、そしてモリーユ(アミガサタケ)といったきのこは、特に欧米で人気の野生きのこです。でもこれらはかなり高級なきのこ。自分で採ればたかもしれませんが、必ずしもみんなが買うことのできるきのこではありません。世界には決して高級なきのこではなくても、人々の生活に根付いた野生きのこがたくさんあります。カリブ海のハイチで「ジョンジョン」と呼ばれるきのこもそのようなきのこのひとつ。その他、日本以外におけるツチグリの食文化など、知られざる食文化をたっぷり紹介します。

⇒詳しくは「研修展示館1F」で！

⑥ エリマキツチグリ

⑦ アイバシロハツ

⑧ ヒイロタケ

⑨ カワラタケ

⑩ ミドリシギタケ

